

## 一坪共有地共有者の皆さんへ、ご協力のお願い

前略 たびたびお便り差し上げます。

今回は、私達「菱田の明日を考える会」の概要と当菱田地区の状況を報告し、芝山鉄道の開通についてご協力のお願いをいたしました。そして、協力・非協力も含め色々なご意見を頂戴いたしました。なかには激励の言葉もあり感謝しております。

私達も町内の共有者及び反対派幹部のお宅には直接訪問し、芝山鉄道開通への協力をお願いしておりますが、大多数の方は芝山鉄道開通の必要性については理解を示されており、全国の共有者の皆様へ協力依頼のお便りを送付することについても了解されておりますので、私達の中では開通への期待が高まっていると云っております。

さて、いま当地区では空港に関連する集団移転が進められており、中郷地区十戸は移転終了し、住母家地区は移転用地の工事が終了し九戸が移転の準備を進めております。辺田地区の移転も現時点では十戸が合意され現在進行中です。

当地区の半数は専業・兼業を含む農家ですが、今後も農業を続けたいとしているのはそのうちの三割強の農家の方々であり、地区全体としては、サラリーマン化がすすんでいます。農業を続けるにあたっては、基盤整備・規模拡大等農業に関する施策が重要となつてこようと思っておりますが、考える会の中には自然を大事にしようとする有機・無農薬農業を指向し十年以上も頑張っている会員もおり、今までとは違った観点からの農業の有り方も求められてくると思われれます。サラリーマン化が進む中では空港及び空港関連企業に職を求める人も多数となり、多少の差はあつても何らかの形で空港と関わりを持つて生活しているのが当地区の現況であります。

菱田の明日を考える会の会員には別紙名簿をごらんいただければわかるように、空港賛成の人も中立の人も元熱田派の幹部と言われる人もおります。直近の情報では、考える会はその元熱田派の会員に動かされており、この度皆様方へお願いの文書を送付したことについてもその一環とする話がひろめられておりますが、過去の経緯は別にして、「この地区はこのままではいけない、子供達の将来のためにもこれからのこの地区を何とかしなければ」という、住民として親としての気持の接点を活動の柱として私達は行動を開始したのであります。元熱田派と言われる方々もすでに考える会の一員としてこの地区の将来を考えてゆこうとしている地元住民です。今回のお願い文書の送付についても私達の中では、平成九年三月の全体会議の中で出された意見が発端であり、決して昨日・今日出てきた話ではありません。当時は、芝山鉄道の予定地であるとはいえ木の根地区に住む住民を追い出すような行動をしても良いのか、

また、芝山鉄道は二十年前の開港の条件であつたはずで町・県・国という行政及び当事者である芝山鉄道(株)がもつと動くべきだというような意見もあり、会議の度に議論をしながらも今日まで静観してきたというのが実情であります。平成十一年二月に木の根地区の全ての方々が移転したことを受けて、芝山鉄道開通に向けての行動を開始したのです。私達は全会員の合意を基本としており、一部の人達の声だけで行動しようとは思っておりません。

先のお便りでも報告しましたが、考える会は結成の最初の活動として地区住民の意向調査を実施しました。そして地区住民の色々な声を知り、一つずつでも問題を解決してゆこうということから、千代田交差点の渋滞緩和対策・道路整備問題・残土の埋立問題・国土調査の問題等々について、芝山町及び当該団体に改善要請を行なっておりますが、一部で多少の改善は見られるものの、諸問題の解決については時間をかけた活動をして行かなければならないと思っております。また、そのような活動と併せ当地区の将来について語り合ひ中で、専門家を招き「まちづくり」の勉強会を重ねているところです。

芝山町には地区計画の作成と提示を求めているところではあります。その方向は示されておらず、住環境の整備等まちづくりは遅々として進まず騒音はもとより交通渋滞はひどくなるばかりで、渋滞を避けた車が地区内農道・通学路にまで進入し危険は増加するばかりです。また、芝山町が未線引区域であることも手伝つて、最近、最も渋滞する国道に面した土地に営業倉庫の建設が計画され周辺住民は苦慮しているところです。一方、人の居なくなった土地や山間地には土地の改良等を名目にして巧妙に埋立の計画が持ち込まれ、結果として産業廃棄物が埋められるということが各地区で発生しており、別紙にあるような請願等が各地区から出されている状況です。このようなことでは住民が望む農地と居住地の整理、商店街・公園の整備等は望むべくもありません。

私達は芝山鉄道の開通を起爆剤として交通渋滞の緩和・道路整備・農業問題等、当地区の振興が進められることを願っています。少子化が進み、二年先には菱田小学校に入学する児童が一時的になくなるというような中で、子供達に「こんな所に住みたくない」と言われないような地区を目指したいのです。

空港反対派の状況については、現在熱田派十一戸・北原派十戸であり、うち芝山町では熱田派が八戸おりますが、芝山鉄道の開通については理解をいただいております。一方、多古町に住みこの共有地の運動上の名義人である加瀬 勉氏が一坪堅持を呼びかけていることを聞いております。その行動については空港反対を言いながら平行滑走路完成を前提とした自宅の防音工事を集落内で一番最初に実施し、反対派が反対していた成田用水事業にも参画しており理解に苦しむところでもあります。また、反対している一部の方のなか

には、共有地を自宅の移転に際しての交渉の担保にしたいような発言もあるようで、私達としては残念な気持ちで一杯であります。同じ菱田小学校を卒業し、地元に住んでいる一員として地区の将来のこと、子供達の将来のことに目を向け、一緒に考えられないものかと願っているところです。

つらい言葉ではありますが、一部の反対派の方々を除いて大多数の住民は空港との共存を指向し、空港を抱えた地域の将来を考えているのが現在の当地区の状況であります。また、芝山鉄道は二十年前の開港の約束であつたはずで、決して二期工事の条件ではないと私達は受け止めております。芝山鉄道開通の可否が今後の当地区の行方を大きく左右するものと私達は考えております。芝山鉄道は色々な意味からも当地区の最重要課題であります。

当地区の希望を実現させていただきたく、度重なるお願いの文書を差し上げている次第です。今回は返信の葉書も同封させていただきました。何回も申し上げますが私達は芝山鉄道の開通を希望しています。ご協力の気持ちをお持ちいただけの方、お持ちいただけない方それぞれあるらうかと思いますが、ぜひ返信をいただきたく期待しております。

私達の地区も収穫に向け、色々な作物の仕込みの季節に入り皆忙しく働いております。色々な事情がある中、またお忙しい中大変なことと思っておりますがよろしくおねがい申し上げます。皆様方にもご健康に留意され、活躍されることを願いながら、今回のお便りをさしあげます。

草々 3

平成十一年四月 五日

菱田の明日を考える会

会長 大木 敏男、会員一同

〒 289-1602 千葉県山武郡芝山町菱田

TEL 0479- - FAX 0479- -